

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

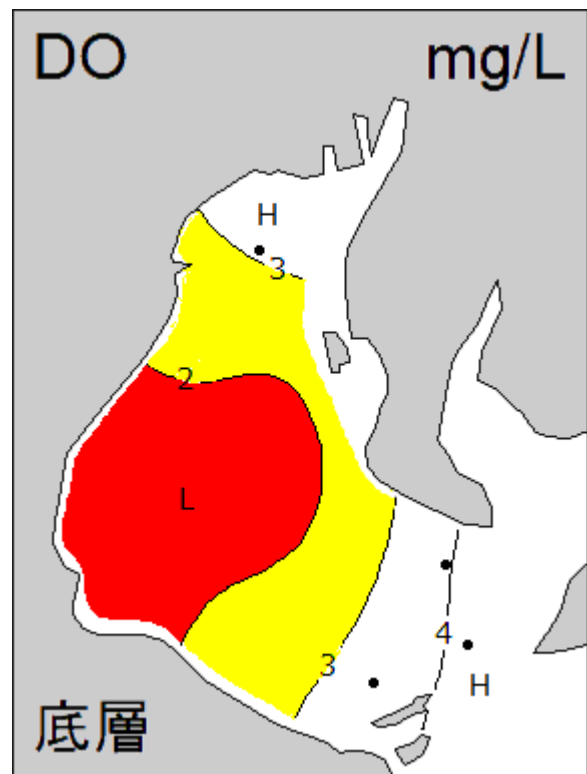
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾中央部の底層において 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

6 月 7 日の調査結果

6 月 7 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 21.2～23.3℃、10m で 17.1～20.6℃、底層で 14.5～19.0℃ の範囲にあり、表層、10m 及び底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.7～9.7 mg/L、10m で 2.1～7.2mg/L、底層で 0.7～5.1 mg/L の範囲にあり、表層は平年並、10m と底層では平年よりやや低めとなっており、底層には湾中央部において 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図

この情報は三重県水産研究所のホームページ
(<http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/>) でもご覧いただけます。